

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	平成22年5月1日の人事異動で職員8人から7人に変更された。サービスの質を落とさないということが課題。	レクレーションや、利用者の活動の量を落とさない。	夕食会は人数配置的に無理があり行うことができません。→日曜15:00からのお茶会に変更、実施。 今までの職員人数から、マイナス一人で余裕のない日常業務お中で、レクレーションなどの活動に当てられる時間を明確化し、今までと変わらずサービスを提供するには、どのような活	6ヶ月
2	34	急変や事故発生時の備え	夜間の救急対応の緊急体制の変更が、確立されたばかりである。以前との体制の変化に戸惑うことなく対応できるようになる。	夜間の救急体制の周知は行えたが、実際それ以後に救急対応はありません。いつ緊急事態があったとしても、対応できるように、普段から話し合いや、抜き打ちなどの方法で実践力を身につける。	6ヶ月
3	4	運営推進会議が2ヶ月に1度開催のところ、4ヶ月に1回の開催であった。	2ヶ月に1回の開催が目標。しかし、各役員の方々も多忙など、2ヶ月に1回の開催は、開催の頻度的にも多く、気を使う。内容的に充実した会議にする必要も課題。	各役員様に対し、2ヶ月に1回の割合で会議に出席していただくにあたり、内容の検討が最重要課題である。外部評価の結果や、課題を題材として会議を進める、年間の計画を立てるなど、計画性を持って運営推進会議を進めていきたい。	12ヶ月
4	35	災害対策について、現在、法人内の避難訓練についての管轄は、安全対策委員会から、事務所に変更される。法人の災害対策の中で、グループホームがどのように対策を進め、避難の手段をとるのか、常に意識を持つ必要がある。	避難訓練などを定期的にしたい	年2回の消防署立会いの避難訓練とは別に、グループホーム独自、または、可能であればケアハウスの協力も得、訓練を定期的に行う。また、いでの里、ボランティア、井手町との、相互の協力体制について、グループホームの枠から法人枠まで広がるかもしれませんが、運営推進会議を一つの検討の場として活用していければと思っています。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。